

2004年4月1日 中京大学図書館発行

ことばの散歩-3-

ライブラリー・図書館・ビブリオテーカ

図書館利用のすすめ

図書館長 安村 仁志

このたび入学された皆さんには、おめでとうございます。これからの大学での学びが実り豊かなものとなりますよう心からお祈りいたします。

大学では、それぞれが属する学部専門の知識を身に付けていくとともに、情報化社会にあつて専門化が進むことでややもすると学問の連関が失われる危険性を避けるため総合的に物事を考える力を養ってってもらいたいものです。そのためにはさまざまな“材料”を集めることが必要ですが、図書館を大いに利用してください。本学の図書館は、名古屋学舎にある1号館のメイン図書館(65万冊の蔵書)、センタ-・ビル3階の開架式のライブラリー・サービス・センタ- (7万冊収容)、法学部の法学文献センター(15万冊収容)と豊田学舎の図書館(33万冊)から成っています。名古屋学舎、豊田学舎のどちらからも相手の図書館の図書をすぐに取り寄せることができるようになっています。高校時代より圧倒的に多い、各種の図書がそろっています。

さて、一口に「図書館」と言いますが、図書館をめぐることばの散歩をしてみましょう。Libraryの訳語としての「図書館(としょかん)」という言い方はいつ頃からなされるようになったのでしょうか。明治時代の中頃からです。それまでは同じ「図書館」でも「ずしょかん」と言っていました。これはなかなかいい読み方ともいえるかもしれません。書だけでなく図や絵もあったことがよりよく分かりますし、ビデオやDVDなども備えられている今日の図書館のイメージに合っているようにみえるからです。ちなみに、「図書」と言うのは中国の『易経』にある「河出図、洛出書」中の河図(か)と洛書(らくしよ)の略だそうです。なお、libraryの旧い訳語は「書籍館(しょじやくかん)」だったといひます。日本の歴史でみますと、701年制定の大宝律令では**図書寮**(ずしょりょう)、平安時代以降各官司所属の書庫は**文殿**(ふみどの)、鎌倉時代頃からは**文庫**といった呼び名で図書館が表わされていたようです。

一方、図書館といえば「ライブラリー」という言い方がほぼ日本語化していますが、それはどんな意味をもっているのでしょうか。libraryという英語の形は14世紀後半からだと言われていますが、その元は「本のコレクション」を意味する古フランス語 librairieです。ちなみに今日フランス語で「本」を表わす語は livre(b v)です。さらにさかのぼると、ラテン語の

librarium(本を保管する箱) liber(本、紙、皮羊紙/樹木の内皮)となります。最後の語は、本にする材料ということになります。

文字を用いて記録し、残しておく場合、古くは粘土板だったのでしょうが、のちにエジプトでパピルス papyrus(paper の語源)が考案され格段の進歩をしました。しかし、これは保存の面で欠陥があり、羊皮紙が使われるようになり、従来の巻物ではなく、今日の本の形態をもたらすことに貢献しましたが、作るのが大変で、大きさ・分量にもよりますが、大体1冊の本を作るのに15頭が必要だったといえます。最終的には今日の紙の発明で多くの問題が解決されました。このように、「本」とそれが保管される「図書館」という語は書き記す材料と関係していたことが、よく分かります。

ところで、この「紙」という語が別のルートで意外な発展を見せていきました。パピルスということばが「聖書」を表すバイブルBibleに関係していくのです。Bibleをさかのぼると、ラテン語のbiblia、さらにはギリシア語のβιβλια(ビブリア)、その単数形βιβλιον(ビブリア 小冊子/紙)にいってきます。そして最後の語はβιβλος(ビブロス エジプトのパピルス)から派生したのですが、なぜパピルスがギリシア語でビブロスになったかといえますと、ギリシアがパピルス紙を取り寄せていたのがフェニキア人の町ビブロス(今日のレバノンに位置する町)からだったためです。フェニキア人は地中海をまたにかけて商業の面で活躍していたのです。こうして、ギリシア語では「紙」、それから作られる「本」がビブリア、そして「本の中の本」といったことで「聖書」になっていったというわけです。

そしてこのビブリア βιβλιον とテーケ-θηκη(箱)が結びついたビブリアテーケ-βιβλιοθηκηが図書館を表わすことになりました。図書館を表わす語としてこのギリシア語から借りているのが、ゲルマン系のBibliothek(ドイツ語)、bibliotek(スウェーデン語)など、ラテン系のbibliothèque(フランス語)、biblioteca(スペイン語)など、そしてスラヴ語のbiblioteka(ポーランド語)、библиотека(ビブリアチカ ロシア語)などで、ヨーロッパの言語の大半はそうです。むしろ、英語は例外的ともいえます。

「図書館」を表わす語をみるだけでも、人間文化の歴史の大きな旅ができましたが、最後に、学生の皆さんがこれからいろいろな学問をしていく時に必要となる、「文献を集めること」と関係することばにビブリアグラフィ bibliography という語があることを述べて終わりにします。この語には、「書誌学」、「書誌解題」或いは「参考文献一覧」といった意味があります。これも、先のギリシア語のビブリアから派生したことはすぐ分かりますが、学生の皆さんはこのことばをよく頭に入れ、大切にしていって下さい。これから専門書を読んでいきますが、たいいてい巻末にその書或いはそのテーマに関する参考文献が載っています。それらを読むと、さらに勉強に広がりが出てきます。また、これからレポートや卒業論文を書いていくときには、必ず自分が用いた参考文献を挙げておくことが必要です。沢山あればあるほど豊かな「作品」になっていることでしょう。

このビブリアグラフィを頼りに、或いは自分のビブリアグラフィを作るためにも図書館を大いに利用してください。最初にもありましたが、「図書館」は「ずしょかん」で、本は勿論のこと、絵図に該当する写真、地図、図表、ビデオ、DVDなどもそろっています。備え付けられているパソコンを使えば、さまざまの「ずしょ」をどんどん検索することもできます。いろいろなことが、存分に学べる大学生活を有意義に送ってください。

OPAC

資料と利用者を結ぶ

名古屋図書館 小川光男

最近の図書館は、館種や規模の違いがあっても概ねこの図書館を利用のために訪問しても、閲覧室に所蔵資料の検索のためのコンピュータ端末が設置されています。コンピュータ端末自体は、館種や蔵書規模、設置台数やキーボード操作を含めて文字の入力方法や画面の表示のされ方に差違はあるものの、館内のごく普通の光景として定着しているように映っています。

一方、図書館が所蔵する資料の収蔵のされ方は、利用者がすべての資料に直接的に接することができる完全開架から、図書館員に出納を依頼しなければ資料に接することができない完全閉架まであり、両方式が併用されているケースが多い。また資料の言語、大型本や小型本などの様態、図書やAV、洋装・和装などの形態の違いと言った特性を配慮した上で同一資料は集中させる目的で所蔵場所をそれぞれ分離収蔵させる方式も採用されています。一般的には、こうした方法を組み合わせた方式として採用されており、個々の図書館が、施設の構造・資料に対応した利用の便・収容効率などを考慮した結果で、一定の法則に基づいてなされている訳ではありません。

ところで何のためにコンピュータ端末が設置されているのであろうか。かつては、あるいは現在も依然として維持している図書館も存在しているかもしれませんが、コンピュータ端末が登場するまでは、その場所にはカードがぎっしりと詰まった木製または金属製のカードボックスが置かれていました。これは、個々の資料の概要について記載したカード状の記録物（目録カード）を納めたものであり、その機能は、「利用者が必要としている資料をその図書館が所蔵しているか否か、所蔵しているならばそれが必要としているものであるのか否か、また図書館内の何処に配架されているか」、など「探し・識別し・入手」という利用者と言料を結びつけるナビゲーターの役割を果たさせたものです。コンピュータ端末は、カードボックスからこの機能を受継ぎ強化されたものであり、通称としてOPAC（利用者用検索端末）という名称で呼ばれているのです。

利用者が蔵書の中から特定の資料について、上述の事柄を何万・何十万冊から自らの目で直接館内を確認しながら探し回することは困難な作業と言わざるを得ません。まして所蔵資料であっても貸出・補修などの理由で常に移動しているので、運良くたどり着ける保証はそれほど高いとは言えません。OPACはこうした無駄な時間や労力を費やさすことなく簡便・迅速に目的資料に辿り着けるために考案された道具なのです。

本学の蔵書数は、図書館（名古屋学舎に3館・豊田学舎に1館が設置）に併せて約90万冊、館外施設としての学部資料室などに約30万冊が所蔵されている。図書館が所蔵する資料で、開架方式として提供している冊数は全館併せて約3割強に過ぎない。また、OPACが提供している蔵書情報は現在約72万冊です。OPACは館外からも図書館ホームページを通じてアクセスできます。本学の蔵書は、皆さんが学習・研究・娯楽のために活用されることを心待ちにしています。

新着図書セレクト

Books are the legacies that a great genius leaves to mankind, which are delivered down from generation to generation, as presents to the posterity of those who are yet unborn.

書籍は天才が人類に残す遺産であり、それは世代から世代へと、まだ生まれていない子孫への贈物として受け継がれる。

By Joseph Addison(ジョセフ・アディソン)

03.12～04.2の新着図書の中から、お薦めの本をご紹介します。



『未来をつくる図書館』(菅谷明子著・岩波書店)

請求記号:010.1/Su 29 所蔵:LSC,TL

「図書館がなかったら今の自分はなかった」。起業や芸術の支援、医療情報などが充実したニューヨーク公共図書館。地域密着の運営、独自のイベントや、ITを活用した情報提供は、どのようにして可能なのか。個人の力を伸ばし、コミュニティを活性化させる活動とその意義を伝え、「市民が主役の情報社会」の方向を探る、示唆に富む報告。

『世界を変えた100冊の本』

(マーティン・セイモア＝スミス著・共同通信社)

請求記号:019.9/Se 98 所蔵:LSC



古代から現代までの知の饗宴。孔子、プラトンからアインシュタイン、ケインズまで、人類の歴史に大きな影響をもたらした世界の名著100冊を、縦横無尽に論じた驚嘆のブックガイド。



『場の思想』(清水博著・東京大学出版会)

請求記号:104/Sh 49 所蔵:TL

互いの違いを認める。共に生きる。そんな社会を、どうすれば作ることができるのか？生命システム科学の発想から生まれた、新しい時代の哲学。日本のもつ「場」の思想が、社会の経済の「危機」を乗り越える原動力となる。

所蔵の【NL】は名古屋図書館、【LSC】はライブラリー・サービス・センター
【LL】は法学文献センター、【TL】は豊田図書館です。





『13歳のハローワーク』(村上龍著・幻冬舎)

請求記号:366.29 / Mu 43 所蔵:LSC

「いい学校を出て、いい会社に入れば安心」という時代は終わりました。好きで好きでしようがないことを職業として考えてみませんか？花、動物、スポーツ、工作、テレビ、映画、音楽、おしゃれ、料理...いろいろな「好き」を入口に514種の職業を紹介。派遣、起業、資格など、雇用の現状をすべて網羅した仕事の百科全書。

『インターネットリテラシー』(水谷正大著・共立出版)

請求記号:547.483 / Mi 97 所蔵:TL

「インターネット環境をどのように考え、利用するか」「大量の情報をどのように管理し、再利用するか」という観点から、その方法と必要不可欠な知識を情報リテラシーとして提供する。ネットワーク利用者教育のために最適。



『日記力「日記」を書く生活のすすめ』(阿久悠著・講談社)

請求記号:816.6 / A 39 所蔵:LSC

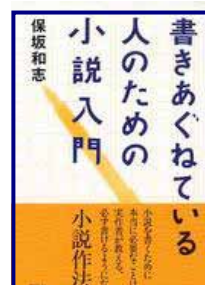
テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット...。情報が氾濫する時代、逃してはいけない大切なことをメモにとる！自分なりに、情報を自由に書く新しい日記の書き方。

『書きあぐねている人のための小説入門』

(保坂和志著・草思社)

請求記号:901.307 / H 91 所蔵:LSC

小説を書くために本当に必要なことは？実作者が教える、必ず書けるようになる小説作法。



『愛する源氏物語』(俵万智著・文藝春秋)

請求記号:913.363 / Ta 97 所蔵:TL

千年の時を越え、万智訳でああ、からころもよみがえる54帖の恋愛譚。和歌は心の結晶 / あなたのために / 雨夜の品定め / 逃げる女 / 末摘花のボキャ貧 / 文明と恋愛 / 恋の分かれ道 / 光源氏の下心 / 朧月夜が一番(ほか)



ベストリーダー (12月~1月)

【名古屋図書館】 心理・経済・国文学と幅広い分野の資料が利用されています。

(貸出)

Handbook of parenting	367.3/H29/5
The economics of unemployment	331.88/E19/1
長谷寺験記	918/Ko93/72
井上円了選集 21 巻	121.908/I57/21
新・経営海外移転論	335.21/Mu62

(閲覧)

心理学研究	P140 / Sk
教育心理学研究	P371.4 / Ks
日本語学論説資料	P810.1 / Kr
カウンセリング研究	P146.3 / Kk

【豊田図書館】 話題の韓国ドラマ『冬のソナタ』の小説本が人気です。

(貸出)

別冊宝島	P049 / Bt
晩鐘	913.6 / N95 / 1
冬のソナタ	929.13 / Ki38 / 1
子供の権利を生かす 生活指導全書	375.208/Ko21/3

(閲覧)

月刊切抜き体育・スポーツ	P780 / Ij
体協時報	P780 / Tj
Sportsmedicine	P780.19 / Sm
指導者のための スポーツジャーナル	P780 / Ss

【LSC】12月には『A Christmas carol』等、クリスマス関連図書の利用が増えました。

(貸出)

Chemical secret	837.7 / 093 / 53
Who,Sir? Me,Sir?	837.7 / 093 / 74
A Christmas carol	837.7 / P37 / 56
上記3タイトル以外にも『Oxford Bookworks library』『Cambridge English readers』『penguin readers』等の英語教材シリーズの利用が多数みられました。	
新・経営海外移転論	335.21 / Mu 62
相田みつを作品集	728.21 / A 24 / 2
中小企業政策の日本的構図	335.35 / Te 59
半落ち	913.6 / Y 79

【法学文献センター】 最新の情報を調べるには『判例時報』・『法律時報』が有効です。

(貸出)

消費者のための製造物責任の本	324.55 / N37
刑法各論	326.2 / 094
刑法がわかった	326 / F89
株式会社・有限会社法	325.2 / E28

(閲覧)

金融・商事判例	P328.1 / Sk
判例時報	P320 / H j
法律時報	P320 / H j
外交青書	P319/W g /2003



本学教員著作の寄贈図書

『流布本狭衣物語と下紐の研究』 新典社研究叢書 155

教養部 中城さと子 先生著

出版社 新典社

所蔵館 LSC 請求記号 913.381 / N34

『日本物質文明論序説 人間生態的アプローチをめざして』

商学部 田中謙 先生著

出版社 中京大学商学会

所蔵館 LSC 請求記号 361.5 / Ta84



* 新入生ガイダンスのお知らせ *

まもなく新入生ガイダンスが行われますが、図書館のガイダンスも予定されています。学生生活を送る上で、図書館は必要不可欠ですので、必ず図書館ガイダンスに参加くださるようお願い致します。一日も早く図書館の活用方法を覚えて、ぜひ有効利用して下さい。

日程

名古屋	経営学部	4月7日(水) 10:30~11:30	231 教室
	商学部	4月7日(水) 10:30~11:30	241 教室
	心理学部	4月7日(水) 10:30~11:30	353 教室
	法学部	4月8日(木) 11:00~12:00	926 教室
	経済学部	4月8日(木) 11:00~12:00	431 教室
	文学部	4月8日(木) 13:00~14:00	341 教室
	国際英語学部	4月8日(木) 13:00~14:00	343 教室
豊田	社会学部	4月6日(火) 9:30~10:30	411 教室
	体育学部	4月6日(火) 10:40~11:40	411 教室
	情報科学部	4月6日(火) 13:30~14:30	411 教室
	生命システム工学部	4月6日(火) 13:30~14:30	411 教室

* 「NICHIGAI WEB Magazine Plus」が便利になりました *

図書館ホームページから現在利用できる、日外アソシエーツの雑誌・論文見出しデータベース「Magazine Plus」に、中京大学 OPAC への連携機能が追加されて、いっそう便利になりました。

検索結果の詳細画面に「中京大学 OPAC」の文字が出て、直接所蔵確認の検索ができるようになりました。そのため、論文名などから「Magazine Plus」で雑誌名を検索した後、あらためて中京大学の OPAC 画面を開いて所蔵検索していた手間が、軽減されることとなります。ぜひ、ご活用下さい。

図書館カレンダー -

4 月							5 月							6 月										
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土				
					1	2 3							1				1 2 3 4 5							
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12				
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19				
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26				
25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30							
							30	31																

7 月							8 月							9 月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1 2 3		1	2 3 4 5 6	7				1 2 3	4						
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31					26	27	28	29	30		

無印は通常開館です。

通常開館時間

平 日

土曜日

名古屋図書館

9:00～18:00

9:00～12:30

豊田図書館

9:00～18:00

9:00～17:00

ライブラリ-サービスセンター

9:00～22:00

9:00～17:00

法学文献センター

9:00～17:00

9:00～12:30

■ は休館日です。

■ は開館時間短縮(9:00～16:00)

○ の開館時間(平日 9:00～17:00 土曜日 9:00～12:30)

編集後記

まさに、芽吹き、フレッシュマンの行き交う候、館員も年度始めに当たり、リフレッシュし、サービス向上にと努めております。

ご利用にあたって、疑問、ご要望等どんな些細な事でも結構です。カウンターまでお申し出下さい。